

赤い羽根共同募金のご報告

～ 自分の町を良くするしくみ ～

平成 25 年度の赤い羽根共同募金の実績をご報告いたします。
 皆様の温かいお志とご協力に、厚くお礼申し上げます。
 共同募金は、島根県共同募金会へ送金させていただき、島根県共同募金会で審議され、募金総額の約 7 割が平成 26 年度の事業費として社会福祉協議会や社会福祉団体へ配分されます。
 西ノ島町では、右記の各事業に使われる予定です。

=平成 26 年度各種事業=

- 高齢者福祉活動費
 - * 歳末おそば配食事業
- 児童・青少年福祉活動費
 - * 福祉教育推進事業
 - * 子育てサロン開催事業
- 住民全般福祉活動費
 - * 当事者・家族のお互いを支え合う仲間づくり事業
 - * ふれあい健康福祉フェア開催事業
 - * ボランティア活動支援事業
 - * 地域福祉活動推進事業
 - * 災害にも強い地域づくり支援事業
 - * 地域福祉事業管理費等

★赤い羽根共同募金 1,531,665 円

募集期間：H25.10.1 ～ H26.2.10 (単位：円)

戸別募金	1,259,600
法人募金	75,000
学校募金	22,629
職域募金	42,857
その他 (協力店 / 町内設置募金箱他)	131,579
合計	1,531,665



皆さまから、頂いた共同募金は、西ノ島町の地域をより良くする活動、取り組みに生かされています。

ご芳志

西ノ島町社会福祉協議会へ次の方々からご寄付をいただきました。謹んで厚くお礼申し上げます。

香典返しとして
金一封 川端 寛 様 大山

一般寄付として
金一封 齋藤 幸子様 東京都

戸籍の窓

(平成 26 年 2 月届出分)

(敬称略)

おくやみ

島津 健心 0 歳 物井
 川端 一男 73 歳 大山
 岩根 保敬 70 歳 赤ノ江

すこやかに

飯島 彩月 直行
 加奈子 小向

おしあわせに

要 正昭 隠岐の島町
 堀川 澄子 浦郷

(亀澤 林大朗 浦郷
 橋本 静子 浦郷

「ふるさと西ノ島基金わがごとく」に「寄付を頂きました。」

公開希望者無し

平成 25 年度分 寄付金総額

九一八、一〇〇円

(平成 26 年 2 月末現在)

ありがとうございました。

財政課

にしのみま

マイバッグキャンペーン実施中!

マイバッグを持つことは、ごみの削減や、それに伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの削減、レジ袋の原料となる原油の節約(資源保護)へとつながります。

2 月末現在、のべ 122, 520 枚のレジ袋が節約されました。皆様のご協力をお願いいたします。

西ノ島町地球温暖化対策地域協議会

アラスカ州ってどんな所？



西ノ島町の皆さん、

こんにちは！国際交流員レイチエルです。お元気ですか？

西ノ島に来てから私の出身地アラスカ州について、たくさん質問が寄せられました。

私自身は、アラスカ州についてそんなに興味をもってもらえとは思いませんでしたが、多くの方に関心をもってもらう、うれしかったです。

今日は、アラスカ州についての質問の中から5つの質問にお答えしたいと思います！これからも何か質問があれば声をかけてください！

Q: 野菜がありますか？食べていますか？アラスカ人は何を食べますか？

A: はい、野菜はありますが値段が高いです。アラスカは冬が寒くて長くて、栽培することがほとんど出来ませんが、スーパーなど、どこでも野菜が買えます。他の州から輸入するからです。

面白い食べ物といえば、ムース（鹿のような動物）、熊、またはトナカイを食べます。でも、スーパーでは売っていません。狩猟をしないと食べられません。私はあまり狩猟をしません。叔父は毎年狩猟をするので、よく彼からムース肉や熊肉をもらいます。

Q: 白熊が食べられますか？

A: アラスカ民族でない限り、違法です。なぜかというアラスカ民族たちは自給自足の生活をしているからです。自給自足というのは狩猟、釣り、または採集から得た野生の資源を使用することという意味です。

Q: 冬の間、運転することはできますか？

A: はい、もちろん！寒すぎるので歩くことはできません。公共交通機関があまりないので、車が必要です。ただあまりに寒いので、アラスカの車はタイヤやブレーキを電熱線で温めながら走ります。

Q: いつからいつまでオーロラが見えますか？

A オーロラは8月から3月まで見えます。私はよく見ますので珍しくないですが、はじめた見た人はとてもきれいだと感動してくれます。夏にもオーロラは出ていますが、一日中太陽が沈まないのではっきりと見えません。

Q: 冬は何をしますか？

A: 寒いですが外に出ないとすこしも楽しくないです。スキーやスノーボード、アイススケート、犬ぞりなどのウィンタースポーツを楽しむ人が多いです。

★ふるさと子ども体験隊★



◀ 2月 ▶ すばこをつくろう！

中央公民館では2月に、児童・保護者・ボランティア・計22名で『すばこづくり』を行いました。口村さん、岩佐さんの指導のもと、自分たちで板を組み立てました。子どもたちには、むずかしいところもあったようですが、全員がんばって完成させました！

～子ども達の感想から～

- ・クギが出てしまったりして、失敗もしたけど楽しかった。
- ・自分でつくることができてうれしかった。
- ・最後まで、がんばってできてよかった。
- ・ネジをまわすところがむずかしかった。
- ・クギを打つところがむずかしかった。
- ・クギをうつのが楽しかった。
- ・穴をあけるとところがむずかしかった。



ふるさと子ども体験隊では、小学生を対象に自然や食文化などをテーマに、ふるさとの良さを体験できるような活動を計画しています。ぜひ子ども達と一緒に参加してください！おじいちゃん、おばあちゃんもお待ちしております。（教育課）